

鹿児島県宇検村の6年生 七ヶ宿町で体験交流

昨年12月25日から28日までの3泊4日の日程で、鹿児島県宇検村の6年生14名の児童と村野教育長外6名の役場職員が七ヶ宿町に来町し、体験交流を行いました。

宇検村のある奄美地方は、1月から2月でも朝晩の気温が10℃以下となる日は少なく、四季を通じて温暖多湿で年間の平均気温は20℃を超える地域です。

25日の午後、仙台空港に到着し、役場で歓迎の会を行いました。寒さも厳しくなく雪も無かったので、児童たちは、とても残念がっていました。

夜は、おとし宇検村の子ども達と体験交流を行ったジュニアリーダーなど6名による歓迎会を行いました。



2日目のスキー体験は、七ヶ宿スキー場が雪不足のため山形の蔵王温泉スキー場で行い、初めて見る白銀の世界と雪山の雄大さに感動していました。最初はスキーで歩くこともできなかった子どもたちでしたが、スキースクールの方々の指導により少しずつ滑れるようになると、とても楽しんでいました。

3日目は、七ヶ宿ダム管理所^{かんきろう}監査廊を見学し、期間限定で行っているイルミネーションが点灯したときは、大きな歓声が上がりました。堤体の大きさや積み重ねられているロック（岩）の大きさに関心し、ゲートや発電の仕組みなどの説明に興味深く聞き入っていました。



午後は、東日本大震災の被災地である巨理町を訪れました。震災復興ボランティアガイドの方から当時の映像で、津波被害の大きさなどの説明を受け、多くの命が失われた様子などを真剣な表情で聞いていました。夜は、仙台市の光のページェントを見学し、その美しさに感動していました。



宇検村との交流は、今年で3回目となりましたが、南国と雪国という大きな環境の違いをお互いの児童が、体で感じることができ、貴重な体験となっています。今後とも交流を重ねていきます。



安全に作業をするために

除雪作業時の注意事項

今年は例年に比べて降雪が遅く安心していたところ、1月中旬の大雪で、除雪を行う機会が増えたのではないのでしょうか。町民の皆さんは除雪作業など手慣れたものかもしれませんが、慣れていながらこそ油断が重大な事故を招いてしまう恐れがありますので、十分に注意して作業しましょう。



雪下ろし作業中に屋根の雪と共に落下し、雪の下敷きになった



除雪作業中、雪を捨てようとして足を滑らせ、用水路などに転落した



エンジンをかけたまま除雪機に詰まった雪を取り除いていたところ、ロータリー部分に巻き込まれた

▲このような事にならないように、下記の5項目を確認して安全に作業を行いましょう。

命を守る除雪中の事故防止5箇条

1. 作業は家族や知り合いにも声をかけて二人以上で行う！
2. 屋根の雪を下ろすときは建物の周りに雪を残しておく！
3. 晴れの日には屋根の雪が緩んでいるので要注意！
4. 除雪機の雪詰まりはエンジンを切ってから取り除く！
5. 面倒でも命綱やヘルメットの着用を！



●お問い合わせ 総務課 ☎37-2111

七ヶ宿町放射性物質除去土壌仮置き場の放射能測定結果

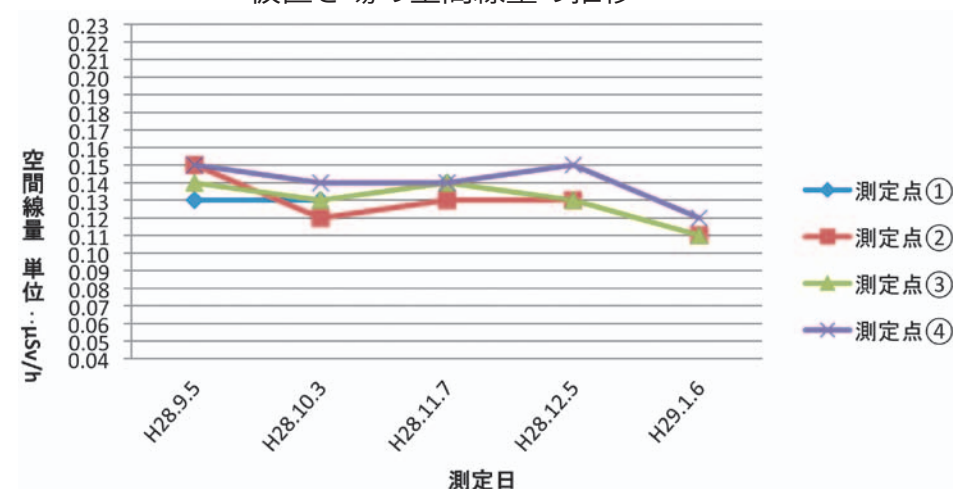
柏木山放牧場に隣接する仮置き場の測定結果をお知らせします。

平成29年1月6日に柏木山放牧場の空間放射線量及び地下水放射性物質量を測定した結果、以下のとおりとなりました。

平成25年5月から空間線量を測定していますが、追加被ばく量が年間1 mSvを超えないように管理され仮置き場が安全に保たれていることを表しています。

※ 仮置き場内の4点を定点とし測定しています。

仮置き場の空間線量の推移



●お問い合わせ 総務課 ☎37-2111 (担当: 東根)

○地下水の測定結果

単位: Bq/kg

調査項目	測定値
放射性ヨウ素 (I-131)	不検出
放射性セシウム (Cs-134)	不検出
放射性セシウム (Cs-137)	不検出

測定開始時から不検出となっています。